

【記載例】 減収となった方

1	生活困窮者住居確保給付金支給申請書			
フリガナ	セタガヤ タロウ			
①氏名	世田谷 太郎			
②生年月日	昭和・平成 令和 2年 1月 1日 満(31)歳			
③電話番号	1111-1111			
申立事項	④次の(1)又は(2)の場合であること(いずれか該当する方に記載)			
	(1) 離職等の場合			
	離職等の年月日	減収となったために申請をされる方は、(1)の記入は不要です。		
	離職等した事業所	減収となった理由や状況などについて具体的にご記入ください。		
	(2) 第3条第2号に規定する場合			
	給与その他の業務上の収入を得る機会の減少の状況	コロナウイルス感染拡大の影響で、休業状態が続いていることから、収入を得ることができていない。		
	⑤離職等前に世帯の生計を主として維持していたこと又は申請月において維持していること			
	離職等前の雇用状況等、世帯の生計の維持にかかる状況	世帯の生計を主として維持している		
	⑥次の(1)又は(2)のいずれかに該当していること(いずれか該当する方に記載)			
	(1) 住居を喪失していること			
	住居を喪失した時期	現在住居を喪失してしまっている方のみご記入ください。		
	喪失した住居の住所			
	現在の状況			
	(2) 住居を喪失するおそれがあること			
	現在の住所	〒157-0001 世田谷区世田谷4-21-2700アパート 〇号室		
住居の家主等	〇〇〇〇不動産			
喪失するおそれのある住居の家賃額	60,000円 家賃は共益費等を含まない額でご記入ください。			
現在の収入状況等、住居喪失のおそれがある理由、状況等	収入が減少しており、家賃の支払いが困難である			
⑦申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の収入及び預貯金が次のとおりであること				
フリガナ	セタガヤ タロウ	セタガヤ ハナコ	セタガヤ カズオ	
氏名	世田谷 太郎	世田谷 花子	世田谷 一雄	
続柄	本人	妻	子	
生年月日	平成2年1月1日	平成2年1月1日	平成20年1月1日	
収入(月額)	90,000円	50,000円	0円	円 140,000円
預貯金等	380,000円	220,000円	0円	円 600,000円
※申請日の属する月の収入(月額)が確実に推計できる場合はその額を、変動あるときは収入の確定している直近3か月間の平均収入を記載する。雇用保険の失業等給付、児童扶養手当等各種手当も合算する。				
上記の申立事項に相違なく、生活困窮者自立支援法施行規則(以下「則」という。)第13条の規定により、必要書類を添えて生活困窮者住居確保給付金(以下「住居確保給付金」という。)の支給を申請します。				
私の個人情報、住居確保給付金の支給並びに臨時特例つなぎ資金及び総合支援資金の融資を行うために必要となる等(別第4条第1項第8号に規定する都道府県等、公共職業安定所、社会福祉協議会及び世帯)の間で相互利用されることについて				
原則として、申請月に支払うべき家賃分からの支給になります。				
2月家賃分(1月に支払い)からの支給を希望します				
令和 3年 1月 1日				
世田谷区長 あて				
申請者氏名 世田谷 太郎				
【記載例】 減収となった方				